

令和5年度 61回生 授業概要(シラバス)

| | | | |
|-----------|--|---------|--------------------------------|
| 科目名 | 解剖学Ⅰ | 分野/教育内容 | 専門基礎分野/人体の構造と機能 |
| 開講年次・時期 | 1 年前期 令和 5 年 4 月 12 日 | 単位数/時間 | 1 単位/30 時間 |
| 担当講師名 | 金澤 潤 | 所属・役職 | 岩手医科大学 医学部 解剖学講座 人体発生学分野 助教 |
| | | 資格・免許 | 医師・医学博士 |
| 授業の概要 | 人体解剖学、特に系統解剖学の知識を理解する上で、正常な人体の構造と各臓器、器官との相互関係を理解し、後期学習科目及び臨床看護、治療の基礎知識を身につける | | |
| 到達目標 | 局所解剖学的知識を臨床看護に応用できる | | |
| 事前学習内容 | 授業内容に関する教科書の部分を読んでから受講する | | |
| 成績評価の方法 | 1. 試験による評価 2. 出席状況と受講態度による評価 | | |
| 使用テキスト | 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院 | | |
| 授業回数 | 授業概要(主な学習内容) | | 授業形態 |
| 第 1・2 回 | 解剖学のための基礎知識；人体の区分、身体の軸と運動の方向、身体の基本構造、体表の目印 | | 講義 |
| 第 3・4 回 | 身体の支持と運動；人体の骨格と筋(体幹、上肢帯と自由上肢) | | |
| 第 5・6 回 | 身体の支持と運動；人体の骨格と筋(下肢帯と自由下肢、頭蓋) | | |
| 第 7・8 回 | 血液の循環；血液と脈管、心臓 | | |
| 第 9・10 回 | 呼吸運動；呼吸器の構成、呼吸運動、ガス交換、肺循環 | | |
| 第 11・12 回 | 消化と吸収の解剖学；消化管と肝・胆・膵 | | |
| 第 13 回 | 終講試験 | | |
| 第 14・15 回 | 解剖学Ⅰの残り、終講試験の解説 | | |
| 履修上の留意点 | 1. 人体解剖学は、人の体の形態を観察し、その形態の存在意義を理解し考察する学問であるため、単なる教科書の内容の「暗記」はしない 2. 図書室やインターネットなどを利用して、文献と資料の収集に力を入れる 3. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する | | |

令和5年度 61回生 授業概要(シラバス)

| | | | | |
|-----------|--|---------|---------------------------------|------|
| 科目名 | 解剖学Ⅱ | 分野/教育内容 | 専門基礎分野/人体の構造と機能 | |
| 開講年次・時期 | 1 年前期 令和 5 年 6 月 7 日 | 単位数/時間 | 1 単位/30 時間 | |
| 担当講師名 | 木村 英二 | 所属・役職 | 岩手医科大学 医学部 解剖学講座 人体発生学分野・准教授 | |
| | | 資格・免許 | 医師・医学博士 | |
| 担当講師名 | 金澤 潤 | 所属・役職 | 岩手医科大学 医学部 解剖学講座 人体発生学分野・助教 | |
| | | 資格・免許 | 医師・医学博士・死体解剖資格（系統） | |
| 授業の概要 | 人体解剖学、特に系統解剖学の知識を理解する上で、正常な人体の構造と各臓器、器官との相互関係を理解し、後期学習科目及び臨床看護、治療の基礎知識を身につける | | | |
| 到達目標 | 局所解剖学的知識を臨床看護に応用できる | | | |
| 事前学習内容 | 授業内容に関する教科書の部分を読んでから受講する | | | |
| 成績評価の方法 | 1. 試験による評価 2. 出席状況と受講態度による評価 3. 解剖見学レポートの内容による評価 | | | |
| 使用教科書 | 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学, 医学書院 | | | |
| 授業回数 | 授業概要(主な学習内容) | | 講師 | 授業形態 |
| 第 1・2 回 | 情報の受容と処理Ⅰ；神経系 | | 木村 | 講義 |
| 第 3・4 回 | 体液調節の解剖学；尿と汗の産生 | | 金澤 | |
| 第 5・6 回 | 生殖と発生；女性生殖器、男性生殖器、受精と初期発生 | | | |
| 第 7・8 回 | 生体防御；免疫系 | | | |
| 第 9・10 回 | 恒常性の維持；自律神経系と内分泌 | | | |
| 第 11・12 回 | 情報の受容と処理Ⅱ；感覚器(視覚器と平衡聴覚器) | | 木村 | |
| 第 13～15 回 | 解剖見学 | | 木村 金澤 高橋 | 演習 |
| 終講試験 | | | 木村 金澤 | |
| 履修上の留意点 | 1. 人体解剖学は、人の体の形態を観察し、その形態の存在意義を理解し考察する学問であるため、単なる教科書の内容の「暗記」はしない 2. 図書室やインターネットなどを利用して、文献と資料の収集に力を入れる 3. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する | | | |